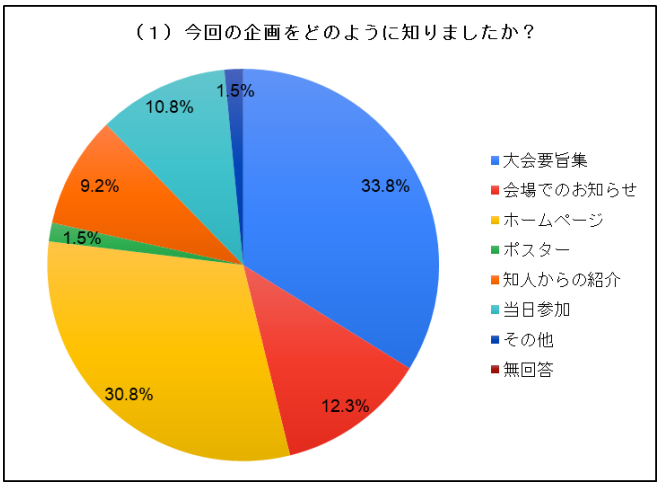
第 77 回日本細胞生物学会-第 58 回日本発生生物学会合同大会
キャリアパスランチョンセミナーアンケート回答集計

セミナー日:2025/7/18　ウインクあいち
会場にてアンケート用紙配布、Web 形式併用

アンケート用紙利用	21 人
Web アンケート利用	31 人

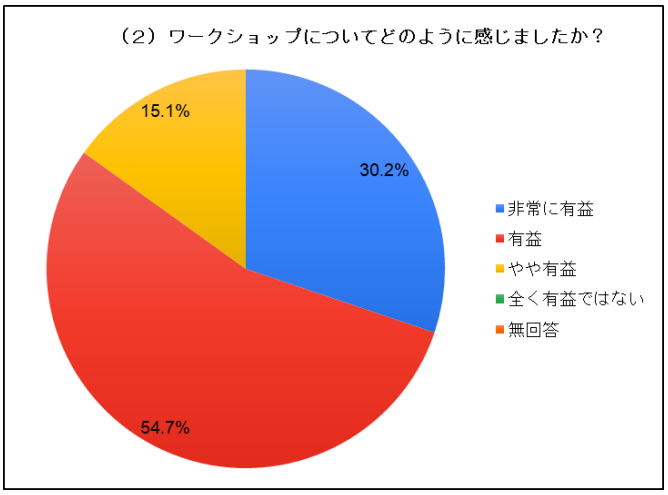
（1） 今回の企画をどのように知りましたか？

大会要旨集	22	33.8%
会場でのお知らせ	8	12.3%
ホームページ	20	30.8%
ポスター	1	1.5%
知人からの紹介	6	9.2%
当日参加	7	10.8%
その他	1	1.5%
無回答	0	0.0%
「その他」の内容	slack	



（2） ワークショップについてどのように感じましたか？

非常に有益	16	30.2%
有益	29	54.7%
やや有益	8	15.1%
全く有益ではない	0	0.0%
無回答	0	0.0%



（3）（2)のように感じた理由を差し支えなければお聞かせください。

（2)の選択肢	理由
やや有益	キャリアの選択肢を知れたのは良かったが、自分にとっては先のことで学生の間のことも聞きたかったから。
非常に有益	企業の方々の本音や内情を聞ける機会が、あまりないから
非常に有益	キャリアの自由さを知れた。
非常に有益	研究にも企業にも関わったことのある人が周りには少なかったため。
非常に有益	博士課程後少しコンサルを考えていたので、現実を聞けて良かった。
有益	様々な経歴の方の話を聞けた
有益	キャリアプランの考え方の多様性を感じられた
有益	具体的な経験談が生き生きと語られた。
有益	アカデミア、企業を選んだ人からリアルなそれぞれの利点欠点を聞くことができた。
有益	民間への就職についてほとんど考えたことがなかったため、知見を広げることができた。
有益	学生にとっては、キャリアパスを知るいい機会になったと思います。
有益	自身の進みたい道と似ている、もしくは異なる道に進んだ方の考え方や進路を決定した際の心情を聴けたことは、自身が共感できる部分を見つける上でとても参考になりました。
有益	様々な立場の方の話が聞けました。
有益	普段は聞けないような多様なキャリアについて聞くことができた
有益	想定外のキャリアパスがいっぱいあって、もっと広く考えてもいいと感じました
有益	自分では経験したことがないキャリアの話を聞けて楽しかった。
有益	意見の対立もあって盛り上がったのではないでしょうか！
有益	その人物の本音、一次情報
非常に有益	若手が話しているところ
非常に有益	3 人の講師の方の多様なキャリアを知れたため
非常に有益	医薬品や化粧品、食品・医療機器などに進む道は考えられるのですが、コンサルや AI などは考えていなかったのでそういった考え方が参考になりました。
非常に有益	キャリアを決定する際に考えていたことを詳細に聞くことができた。
非常に有益	様々なキャリアパスを聞けて、進路の選択しが増えました。
非常に有益	様々な選択肢があるとよくわかったから。
非常に有益	多様なキャリア形成について話を聞けたため。
非常に有益	自分の知らない世界を知ることができた
非常に有益	・若い学生さん同士のコミュニティ形成　・シニア研究者にとって、学生さん達の本音が知れることは貴重
やや有益	私は 13 年間企業にいる企業人ですが企業は多様であると感じました。
やや有益	アカデミアのポストが少ない現状において企業への就職はキャリアパスの大きな受け皿だと思う。企業の人事担当の方の考え方を知ることができればと思う。日本ではマスター取得者の就職は広き門であるが ph.D.取得者の就職はかなり難しい印象を持っているので
有益	分岐点の悩みを掘り下げて聴ければなお良かったです

有益	若手の意見が聞けたこと
有益	企業就職についての話を聞けたため
有益	色々な立場からのお話を聞けたから。
有益、やや有益	もっと失敗談が聞きたかった。失敗から学ぶことが多いと思います

（4） ワークショップの構成・司会進行・時間帯等に関するご意見をお聞かせください。

良いと思います。
ガッツリアカデミアしか考えていない人という、今やっている人も入れてみると良かったと思う。
良かったです。
距離感がもう少し近いほうが若手同士でのディスカッションが広がるかな感じました。
良かったです。
司会がとてもスムーズでよかったと思います。
一人当たりの時間が長くてもいいのでその人の物語をもう少し聞けるといい
素晴らしいです。
頂度よかったです。
お弁当が複数種類あって良かったです。サンドイッチありがたいです。
OK
良いと思う
若手による若手のための企画で素晴らしい。若い人の質問がしにくい空気になったのが残念
このワークショップというより今回大会のワークショップの時間が短かいと思いました
なし
ちょうど良い長さ、構成でした。
良かったと思います

（5） 男女共同参画に限らず、ご自身のキャリア形成で悩んでいる点があればお聞かせください。

インターン等に費やする時間や余裕がない
博士課程後、次のポストといった先行きが見えない怖さ
自分自身が女性としてのキャリアプランについて、妊娠、出産等のタイミング、自身が独立せずに 2 番手でいられる未知の選択について。すべての人が独立する必要はなく、よいパートナーと苦手を補いながら研究室運営をできる道をもっと広く欲しいなぁと考えている。
アカデミアを目指していますが、日本の環境が過激すぎておかしいと思います。
次のポストが見つかるかなど。
地方の大学ですと、博士課程まで進む学生が少ないので、そういった方々がどうしているのか話をもっと聞きたいと思うことは多々あります。
研究者夫婦で近くの職場をえることです
周りに博士課程の人がなかなかいないのでこの先のキャリアをどうしたらいいのか、就職スケジュールなど悩みを聞ける人がいないこと
女性のライフイベント
家族の進路と自分のキャリアパスとのバランス（諸々の優先度のつけかた）
忙しい（大学業務が）
PI としてのビジョンをどう持つか
大学院生がなかなか博士に進学してくれないこと
なし
自分に何が向いているか見極めるのが難しい。
5～6 年に 1 回くる就活

（6） 今後、男女共同参画推進・若手研究者育成委員会ワークショップではどのようなテーマを取り上げて欲しいですか？

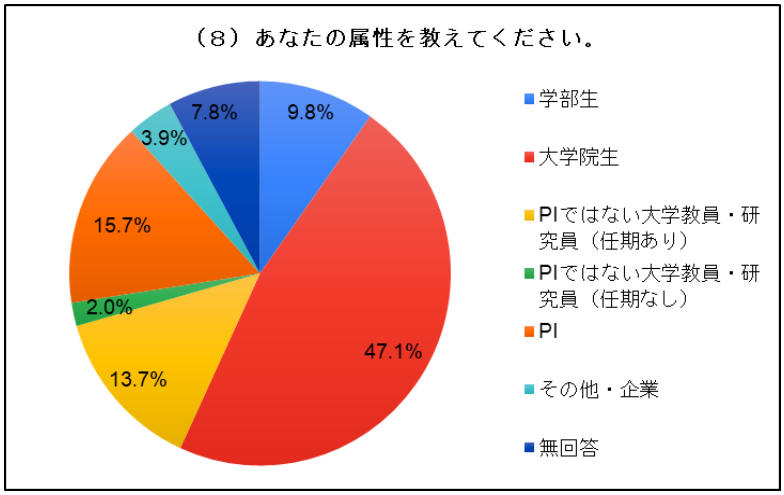
研究とワークライフバランス
博士、ポスドクの若手研究者の学生指導
独立しないアカデミアでの道とか。
留学
海外ポスドク経験について
生活はどのように工面していたか、など博士課程時代のお話も聴けたらと思いました。
ポスドクや若手研究者のキャリアについてのワークショップ
ワークライフバランス
シニアの昔話的なものより、中堅、若手主導の企画が増えるといいと思います
院生の TA 費や交通費支給等が大学によって大きく異なること
財務省の役人がこれらのテーマ、時に人材育成についてどう考えているか

（7） 男女共同参画推進・若手研究者育成に関する細胞生物学会の取り組みとして、ワークショップ以外にどのようなことが必要でしょうか。ご意見がありましたらお聞かせください。

ポスドクおよび若手研究者達の情報交換や相談の時間
海外の若手研究者との交流、ディベート
こまやかな連絡網

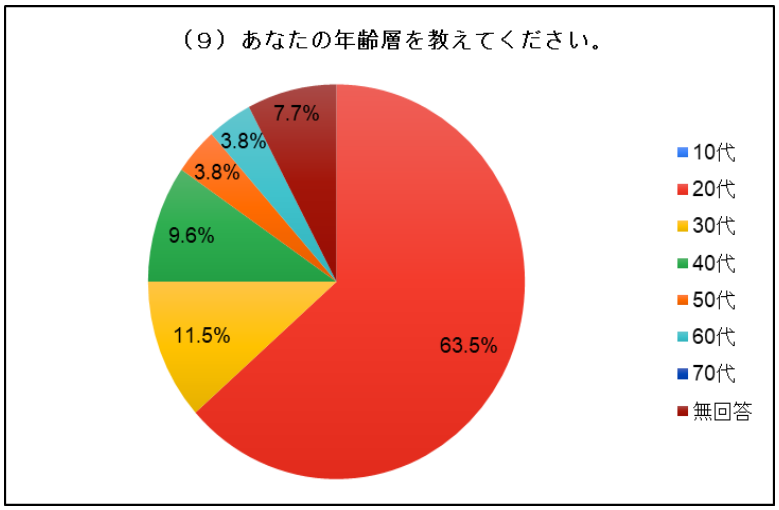
（8） あなたの属性を教えてください。

学部生	5	9.8%
大学院生	24	47.1%
PI ではない大学教員・研究員（任期あり）	7	13.7%
PI ではない大学教員・研究員（任期なし）	1	2.0%
PI	8	15.7%
その他・企業	2	3.9%
無回答	4	7.8%



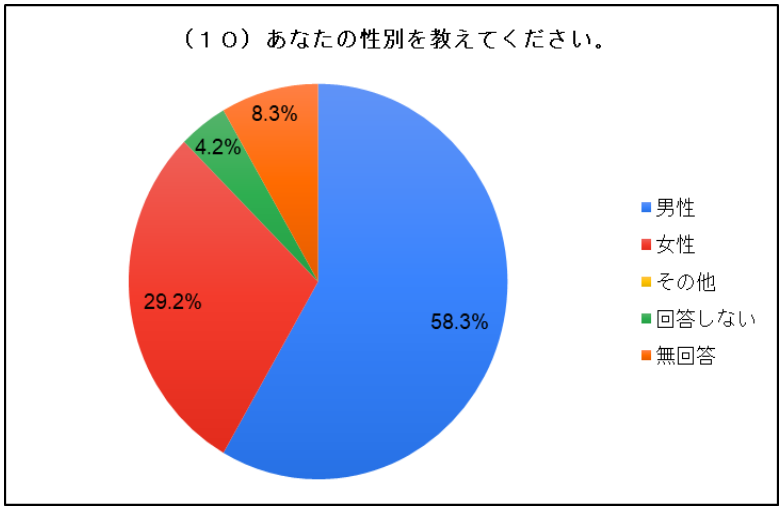
（9）あなたの年齢層を教えてください。

10 代	0	0.0%
20 代	33	63.5%
30 代	6	11.5%
40 代	5	9.6%
50 代	2	3.8%
60 代	2	3.8%
70 代	0	0.0%
無回答	4	7.7%



（10）あなたの性別を教えてください。

男性	28	58.3%
女性	14	29.2%
その他	0	0.0%
回答しない	2	4.2%
無回答	4	8.3%



――以上――